# 生物情報工学第11回中野秀雄

(bioinfo@molbiotech-nagoya.org) 来たら直ぐに出席のメールを上記アドレスに出すこと。名前と出席番号を忘れずに!

本日の目的

蛋白質の立体構造決定法概説 立体構造表示ソフトPyMolの使い方 になれる その他の表示ソフト

## 蛋白質の立体構造決定法

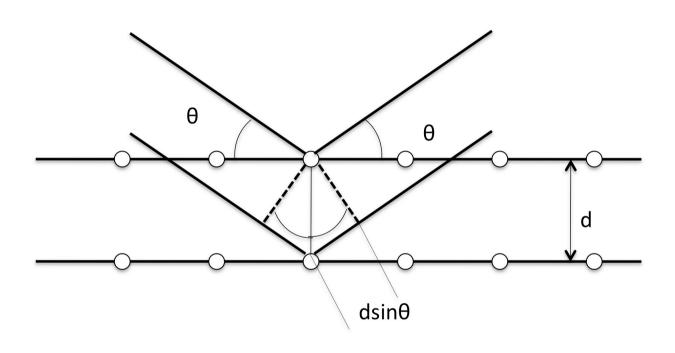
X線結晶構造解析

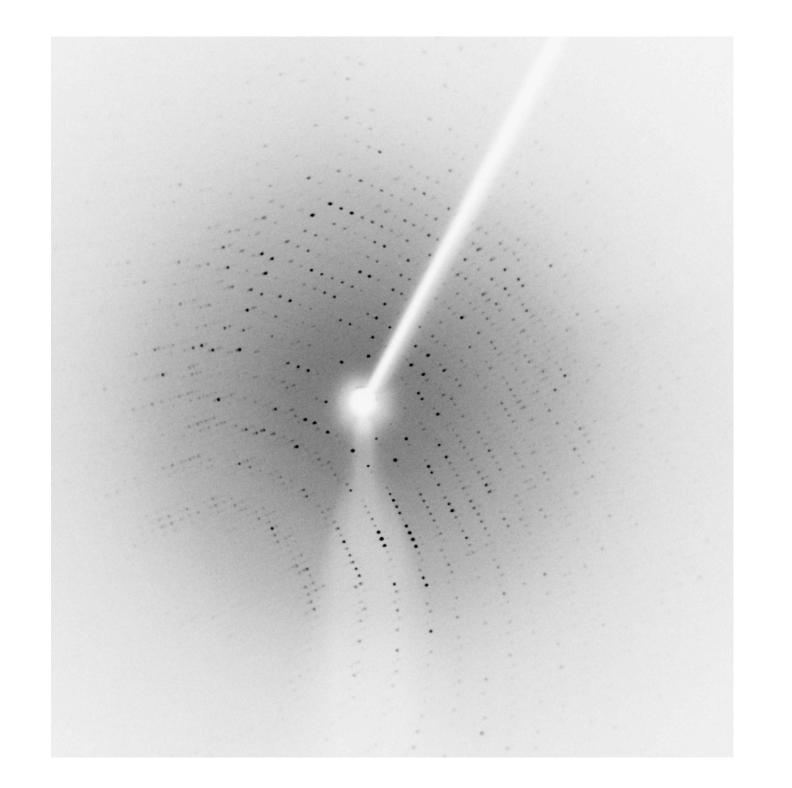
## X線結晶構造解析

- ・世界最初のX線回折による蛋白質の構造解析、 1958年 ミオグロビン
- ・ 現在の研究方法
  - 1)組換えDNA技術を用いて大量発現系を構築し、その後カラムクロマトグラフィーなどの操作によりほぼ単一の蛋白質になるまで精製.
  - 2)蛋白質の結晶化条件探索
  - 蛋白質濃度, 緩衝液の種類とpH, イオン強度, 温度, 塩類, 有機溶媒, ポリエチレン・グリコール等の 沈殿剤の添加, 濃縮



## Braggの回折条件 2dsinθ=nλ





- ・解析の対象となるのは電子の密度関数
- ・ 数学的にはX線の回折像はこの電子密度関数をフーリエ変換したもの(F)
- 一般にFは複素数であるので、振幅|F|と位相の二つの情報を持っている。ところが回折像で得られる情報は振幅|F|だけになってしまい、位相の情報は消えてしまっている。従って電子密度を逆フーリエ変換で得るためには、この"位相問題"を解く必要がある。
- 位相問題を解くために、一般的にはHgなど の重原子を結晶の中に取り込ませ、重原子 同型置換法などで決定する。

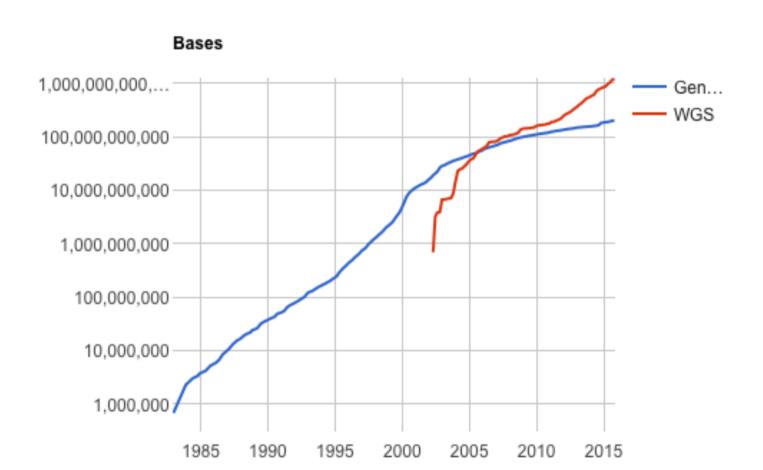
# コンピュータが生物学の研究に必須な理由

- データ量が大きい
  - ゲノムサイズ 大腸菌 4.6M, 酵母 120M、ヒト 3G小麦 17G

データベースに登録された塩基数 2015年8月現在 199,823,644,287 **bp (GeneBank)** 

Protein Data Bank (http://www.pdbj.org/index\_j.html) (114,080の立体構造)

#### **Growth of GenBank and WGS**



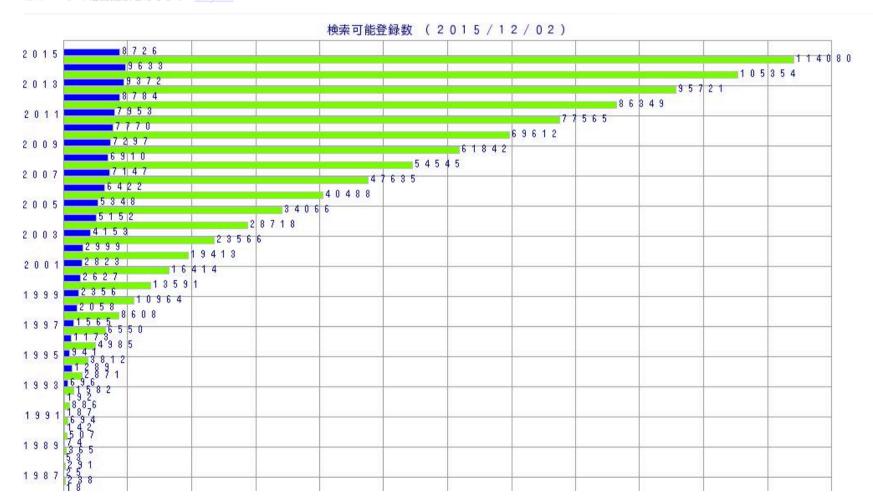


pdbj.org 全体を検索(日本語OK)

wwPDB@ RCSB PDB@ PDBe@ BMRB@ Legacy@ Adv. Se

#### 統計情報

このページの他言語版もあります: English



次世代DNAシークエンサーの出現によりこれからますます生物学にコンピューターは必要となる

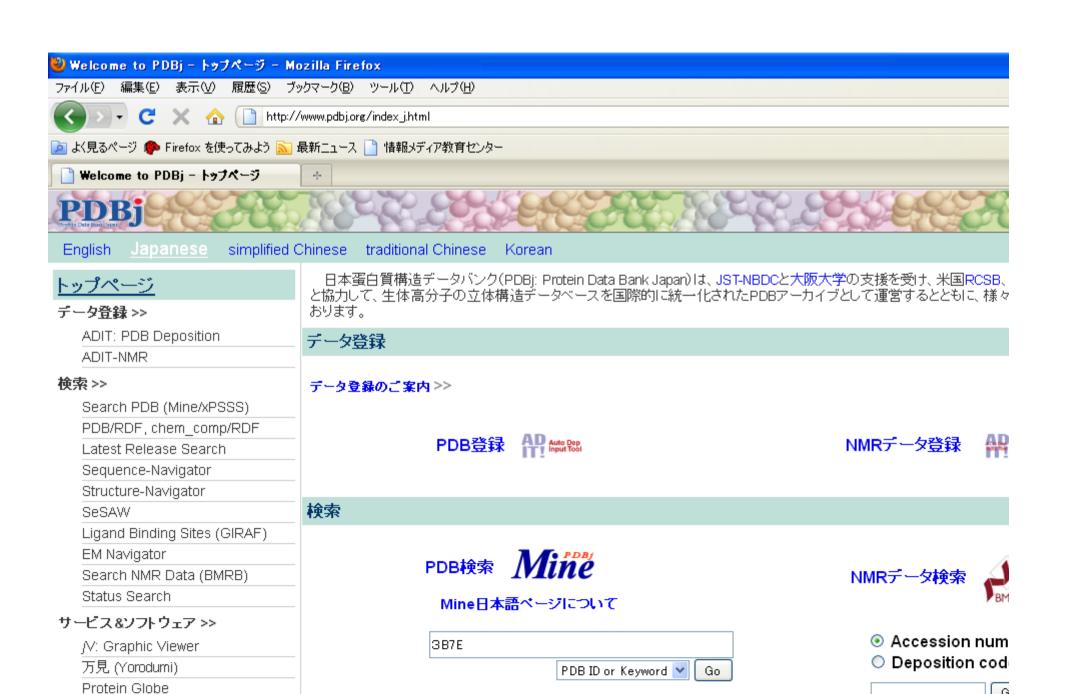
- 従来のDNAシークエンサー
  - 1-100kb/run
- 次世代シークエンサー
  - 200Mb-200Gb/run
- すなわち10の6乗サイズのデータを取り扱う 必要有り。

### 立体構造を図示するフリーのソフト

```
RasMol(http://www.openrasmol.org/)
 Windows, Ma, Linux フリーソフト
PDV Viewer (http://spdbv.vital-it.ch/)
 Windows, Mac, Linux フリーソフト
Pymol(http://www.pymol.org/)
 Windows, Mac, Linux, 教員は登録の上フリー
YASARA view (http://www.yasara.org/)
 Windows, Mac, Linux フリーソフト
```

### タンパク質の立体構造を見てみよう

- PyMolは既にインストールされているので、PDBj より3B7E(インフルエンザウイルスのノイラミニ ダーゼとリレンザとの複合体)をダウンロードし、 PyMolで開く
- 作成した図は画像ファイルとして保存し、ワードファイルに貼り付ける。



詳細条件検索 >>

ASH.

MAFFTash SEALA



```
Mozilla Firefox
ファイル(F) 編集(E) 表示(V)
                      履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルブ(H)
    🕟 🔻 🤾 🏑 🎧 http://www.pdbj.org/pdb_nc/pdb3b7e.ent
🐚 よく見るページ 🦚 Firefox を使ってみよう 🔝 最新ニュース 📄 情報メディア教育センター
http://www.pdbj....b_nc/pdb3b7e.ent
HEADER
         HYDROLASE
                                                  30-0CT-07
                                                              3B7E
TITLE
         NEURAMINIDASE OF A/BREVIG MISSION/1/1918 H1N1 STRAIN IN COMPLEX WITH
TITLE
         2 ZANAMIVIR
COMPND
         MOL ID: 1;
         2 MOLECULE: NEURAMINIDASE;
COMPND
COMPND
         3 CHAIN: A, B;
COMPND
        4 FRAGMENT: SEQUENCE DATABASE RESIDUES 83-467;
COMPND
        5 EC: 3.2.1.18;
        6 ENGINEERED: YES
COMPND
SOURCE
         MOL ID: 1;
SOURCE
        2 ORGANISM SCIENTIFIC: INFLUENZA A VIRUS;
SOURCE
         3 ORGANISM TAXID: 11320;
SOURCE
        4 STRAIN: A/BREVIG MISSION/1/1918;
SOURCE
        5 GENE: NEURAMINIDASE;
SOURCE
         6 EXPRESSION SYSTEM: TRICHOPLUSIA NI;
SOURCE
        7 EXPRESSION SYSTEM TAXID: 7111;
SOURCE
         8 EXPRESSION SYSTEM STRAIN: HIGH-FIVE BTI-TN-5B1-4;
        9 EXPRESSION SYSTEM VECTOR TYPE: BACULOVIRUS;
SOURCE
SOURCE
       10 EXPRESSION SYSTEM PLASMID: PACGP67
KEYWDS
         6-BLADED BETA-PROPELLER, GLYCOSIDASE, HYDROLASE, MEMBRANE,
KEYWDS
         2 TRANSMEMBRANE, VIRION
EXPDTA
         X-RAY DIFFRACTION
AUTHOR
          X.XU.X.7HU.I.A.WILSON
REVDAT
             13-JUL-11 3B7E
                                       VERSN
        4
REVDAT
             20-JAN-09 3B7E
                                       AUTHOR VERSN
```

JRNL AUTH X.XU,X.ZHU,R.A.DWEK,J.STEVENS,I.A.WILSON
JRNL TITL STRUCTURAL CHARACTERIZATION OF THE 1918 INFLUENZA VIRUS H1N1
JRNL TITL 2 NEURAMINIDASE

0

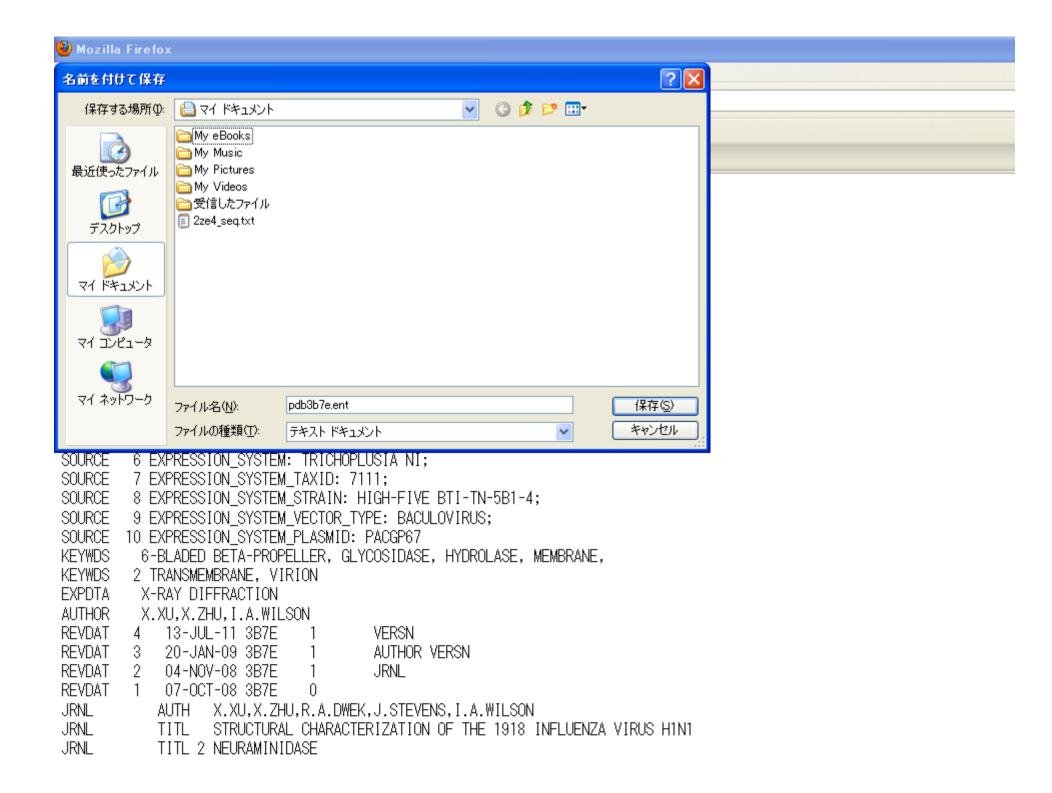
JRNI

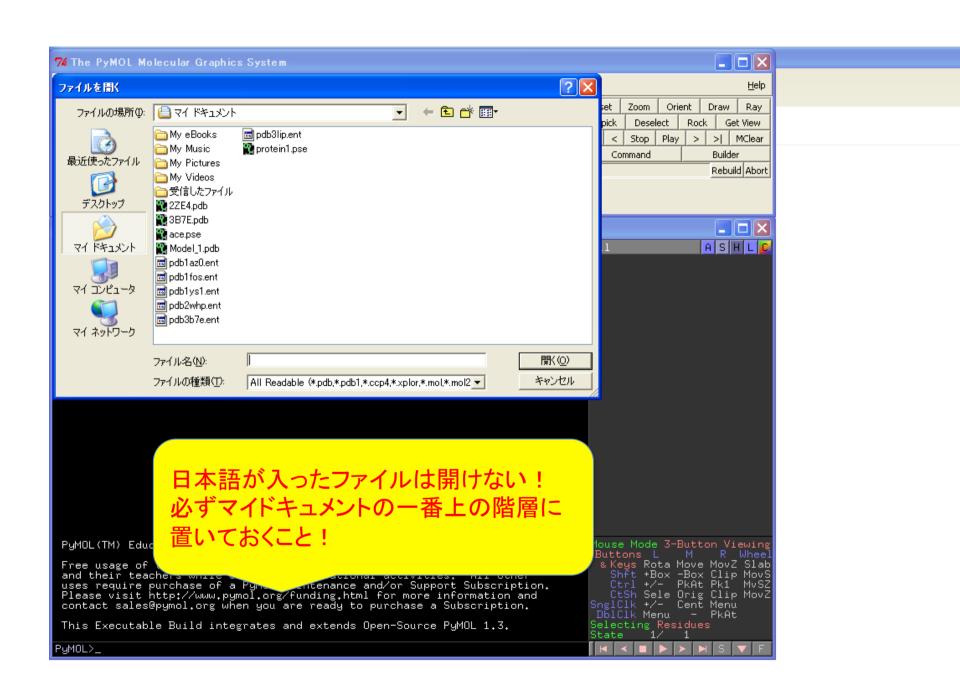
REVDAT

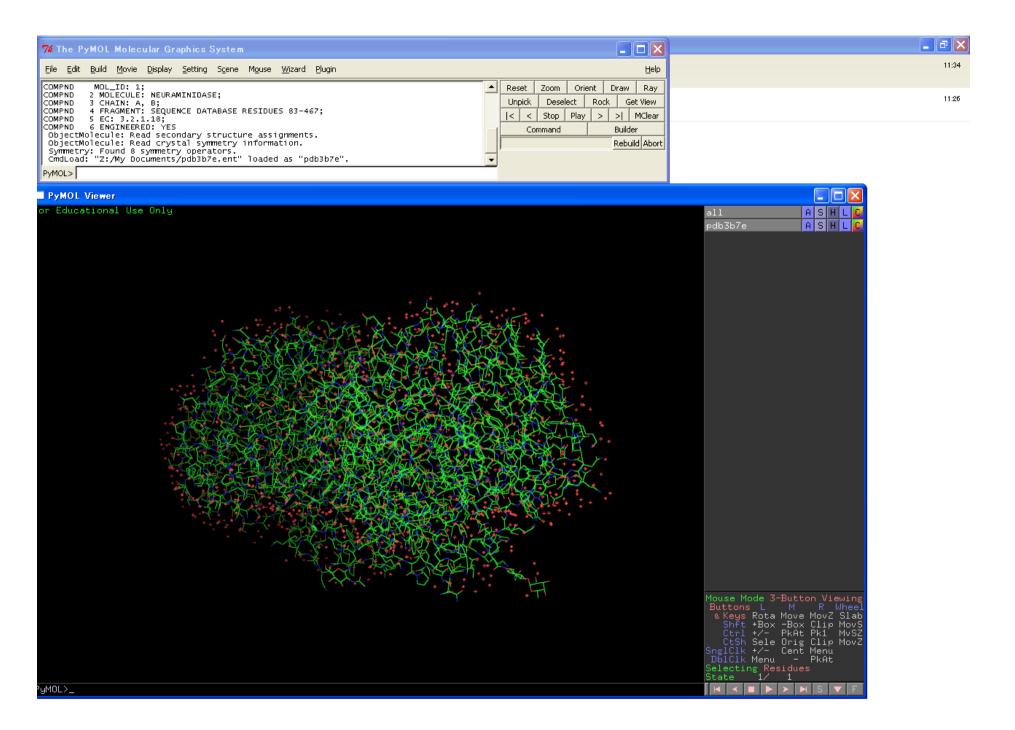
REVDAT

04-NOV-08 3B7F

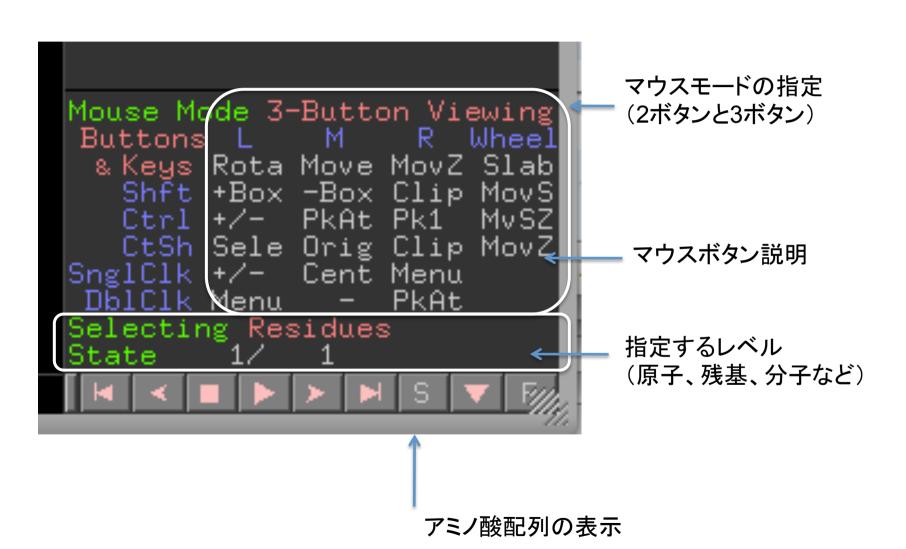
07-0CT-08 3B7E

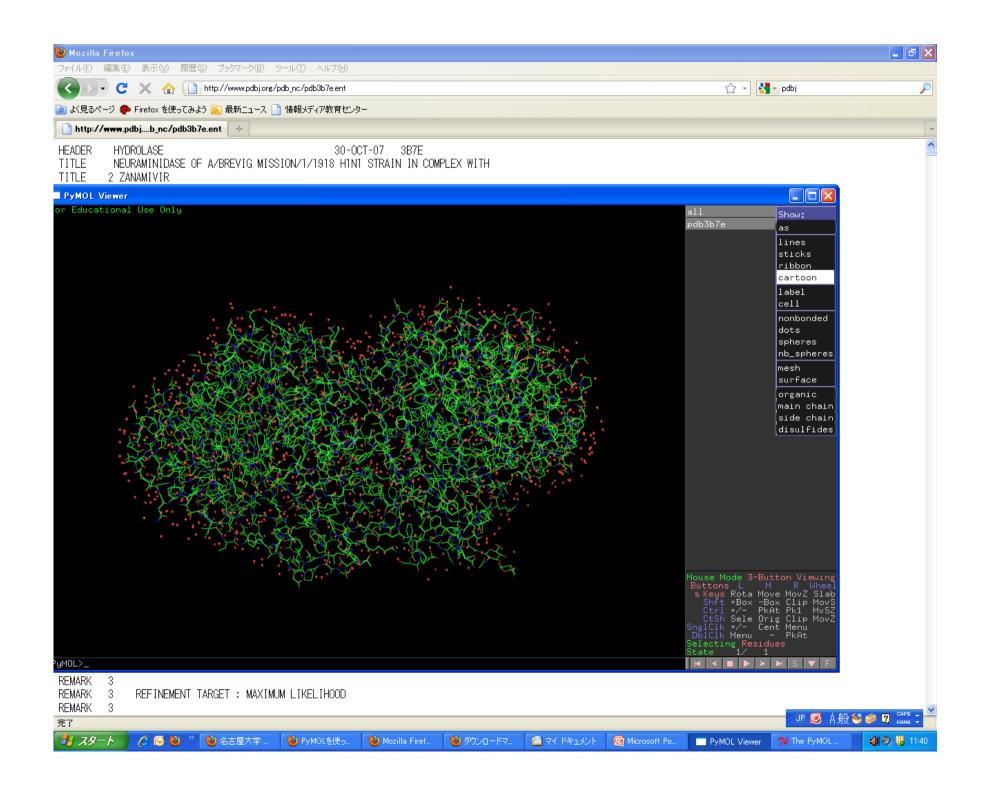


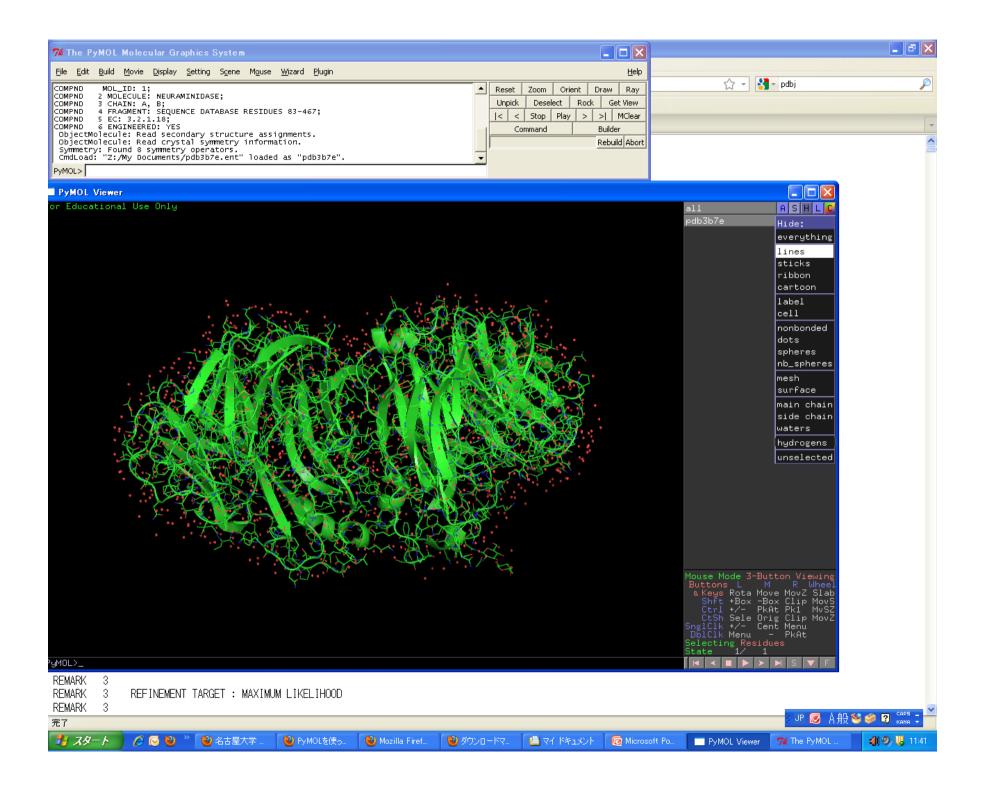


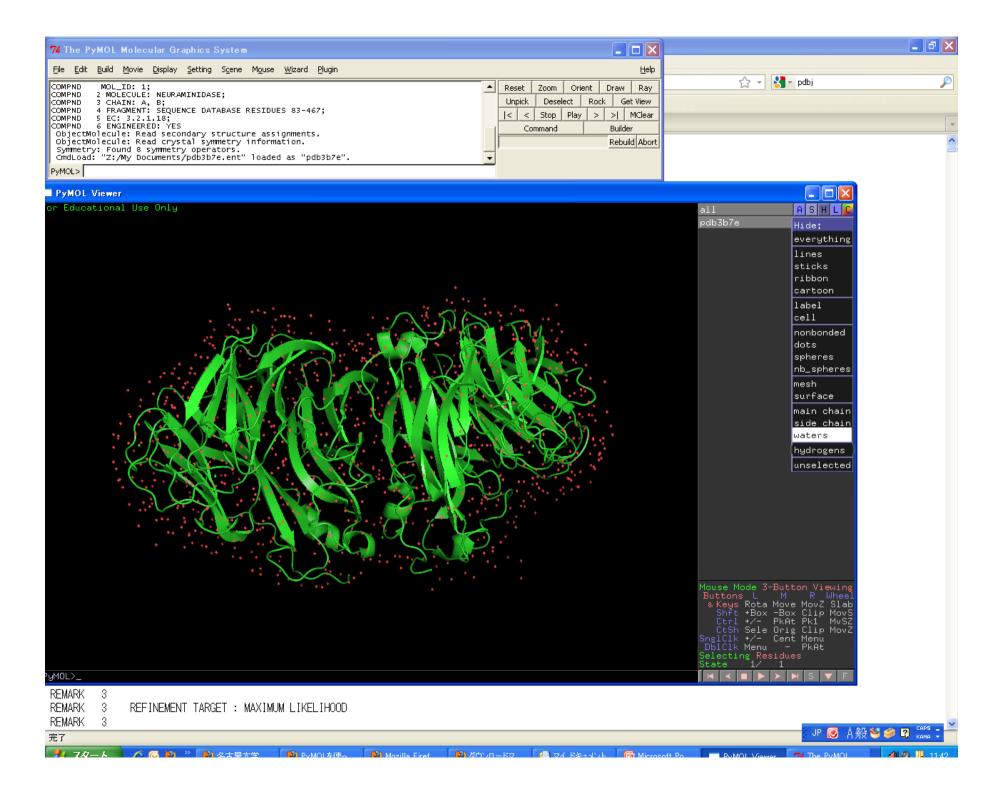


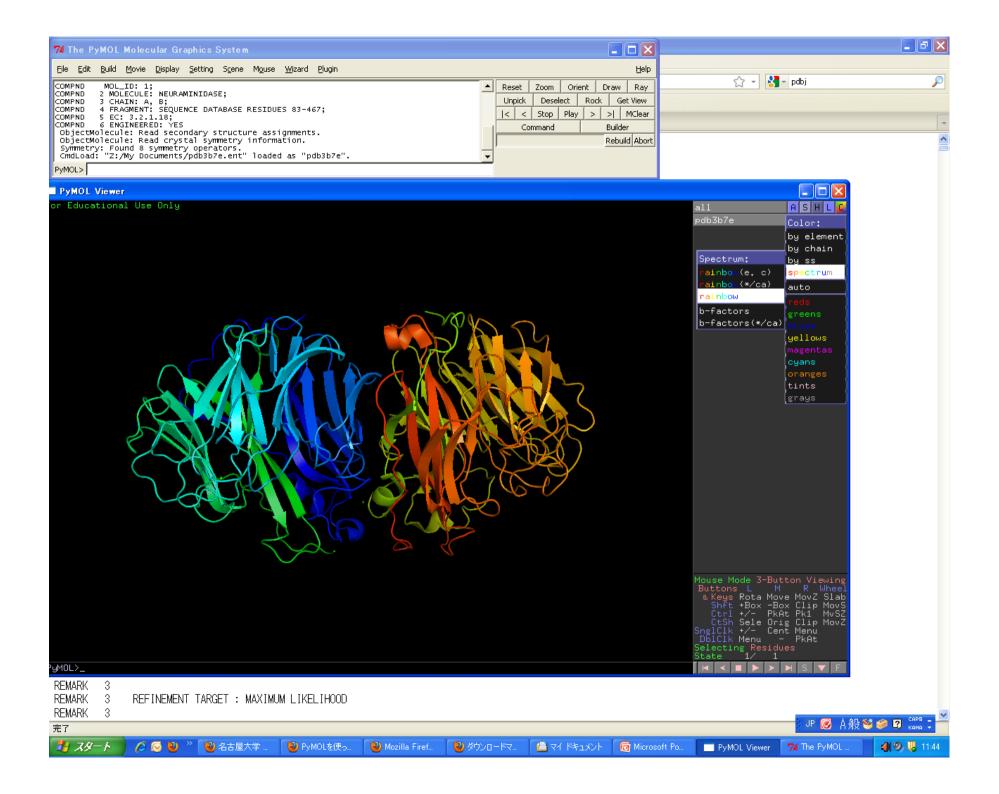
## マウスによる選択方法の指定

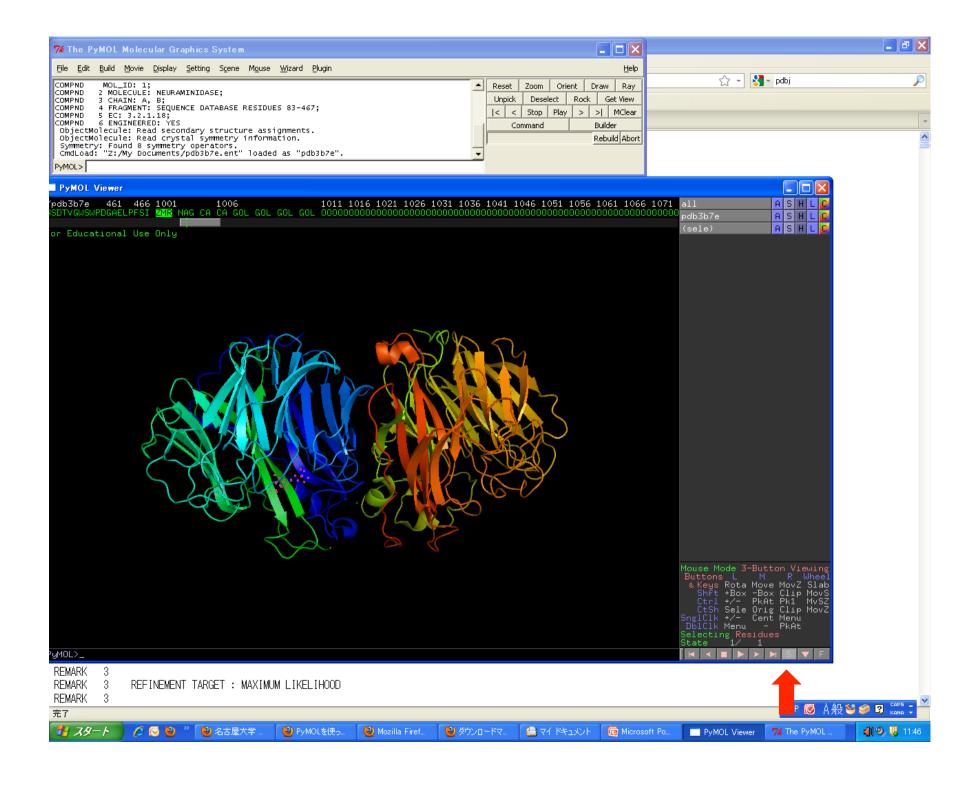




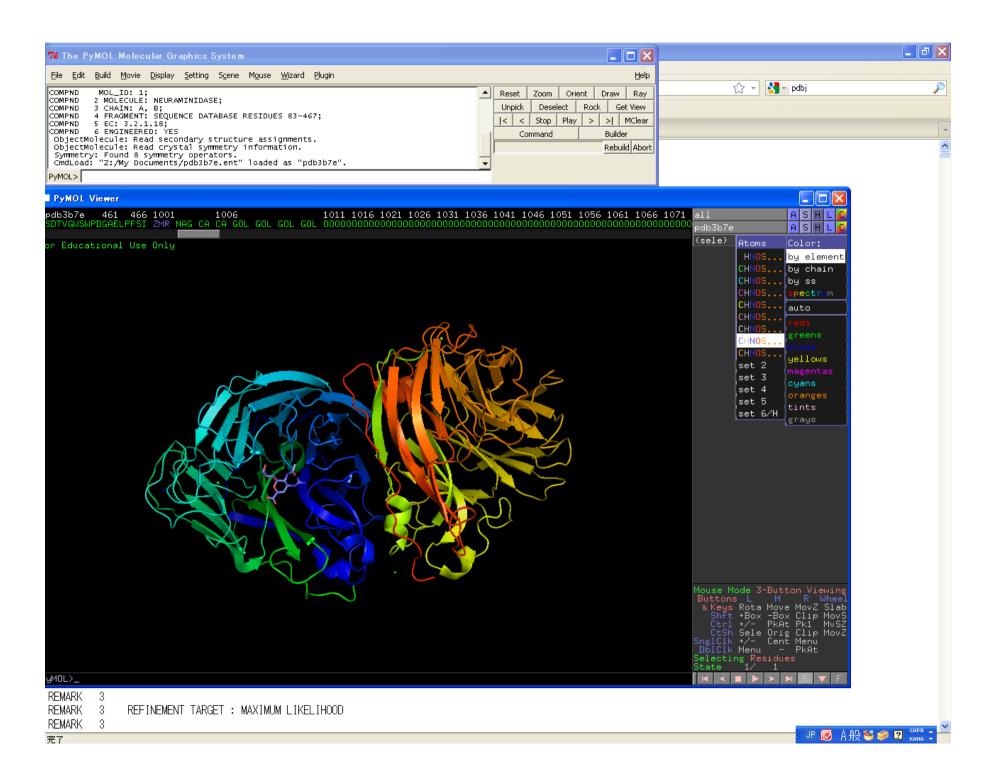


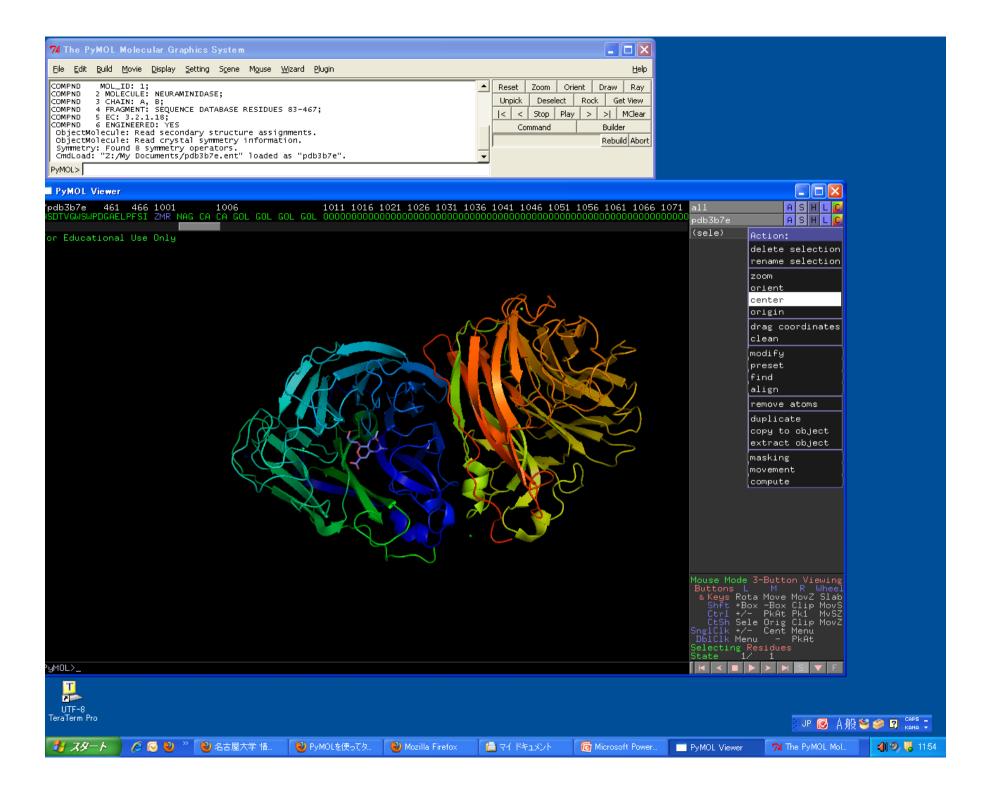


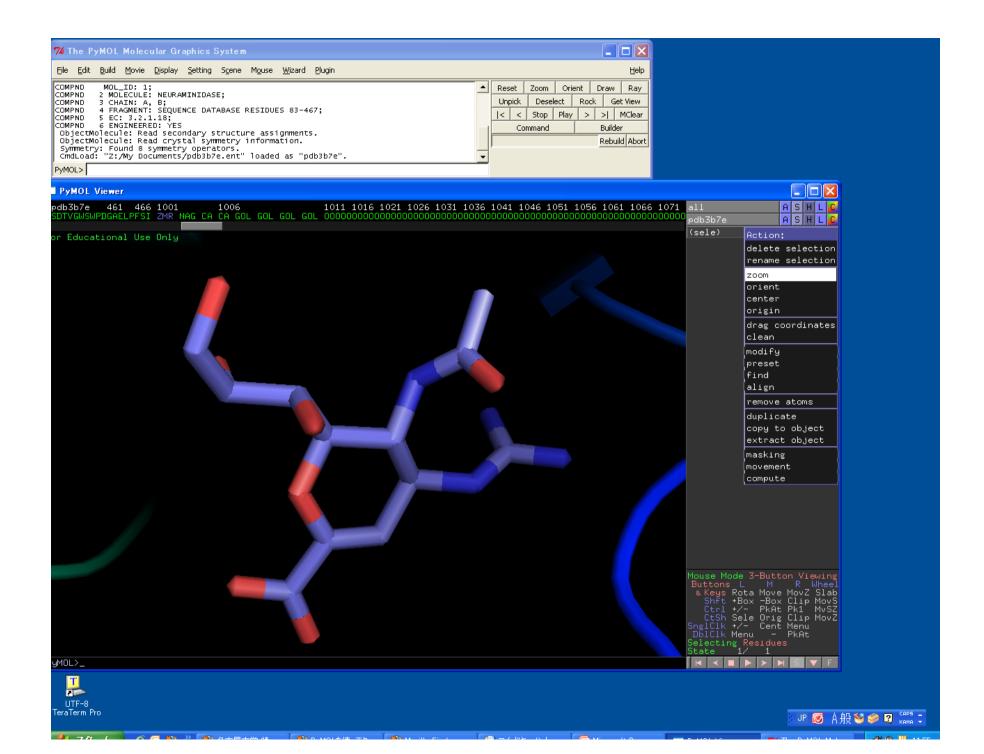


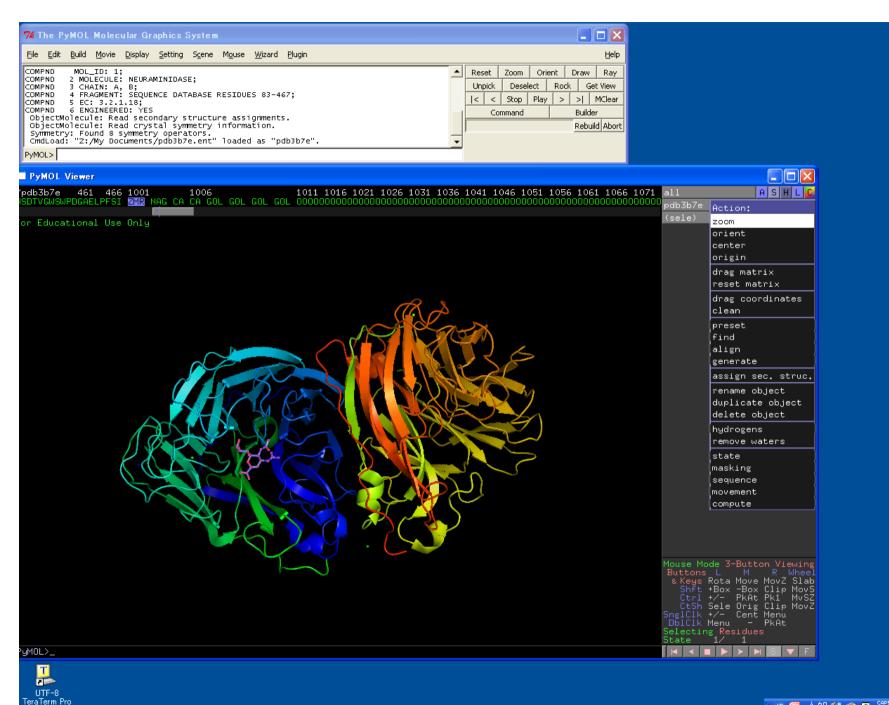














## PDB(Protein Data Bank)ファイルの中身を見てみよう

- Wordなどによりダウンロードしたpdb3B7E.entを開く。
- 1行80文字(レコード)からなる固定長ファイル
- 各レコードは左側3-6文字からなるレコードタグで識別
- HEADER: PDB、ID日付など
- COMPND: 分子に関する情報
- SOURCE: 由来など
- KEYWD:キーワード
- JRNL:発表された雑誌
- REMARK: 構造解析に関する情報など

- SEQRES:配列情報
- HET: 非標準残基(配列情報としてあたえられていないもの、 補欠分子属、イオン、阻害剤など)
- HETNAM: HETで指定された物質の化学名
- HELIX: αヘリックス
- SHEET:βシート
- TURN:ターン
- SSBOND: ジスルフィド結合
- SITE: 触媒作用、補助因子など機能に関わる残基などを特定
- ATOM: アミノ酸、核酸などに標準グループに属する原子の座標(原始通し番号、原子名、残基名、鎖名、残基番号、X,Y,Z座標(Å単位の直角座標)、占有率、温度因子(B-factor: 結晶中の揺らぎの大きさ)、元素名)
- HETATM: 標準グループ以外の座標

### 以下の図を作成し、画像データとしてメールに 添付し送信すること

ノイラミニダーゼとZanamivirとの複合体を、それぞれ別の表示方法で表示し、双方の分子が共によく分かるような図を作成せよ。